

年度	名前	私のSDGs宣言
令和8年度	—	私は助産学生として、将来助産師資格を取得し臨床で勤務する際に、予防の視点と継続的な関わりを大切にしたい支援を実践できるよう、プレコンセプションケアや実習での学びを振り返りながら知識と技術を深めていきたい。また、修士課程での研究を通して、夫婦とともに子育てを行うための支援について理解を深め、育児に関する知識や支援方法を考察できる力を養いたい。これらの学びを通して、周産期にとどまらず幅広い視点から対象者の心身の健康を支えることができる助産師を目指すとともに、医療・行政・地域との連携を意識し、大阪府が目指す切れ目のない支援体制やSDGsの推進に貢献していきたい。
令和8年度	—	・助産師として、妊産婦やその家族の困りごとを早期に把握し、必要な支援につなげられるよう、関係機関との連携を積極的に行う。 ・支援制度や社会資源に関する知識を継続的に学び、対象者一人ひとりに応じた情報提供や支援を行うために検討する。 ・性別や国籍、文化的背景などにかかわらず、一人ひとりの価値観や意思を尊重した関わりを心掛ける。 ・日常生活において、省エネルギーやごみの分別、食品ロスの削減など、環境に配慮した行動を継続する。 ・社会課題や国際情勢に関心を持ち、インターネットやSNS上の情報を鵜呑みにすることなく正しい情報を収集し、自分にできる支援や行動について考え続ける。
令和8年度	—	助産師として、妊娠・出産だけでなく、女性の性や生殖、生活背景にも目を向け、対象者の言葉や表情の変化から困難を抱えていないかを捉える力を身につけたい。また、性暴力や性搾取に関する知識を深め、対象者が安心して相談できる関係を築くとともに、必要に応じて相談機関や行政、福祉機関などにつなげられるよう、多職種との連携を大切にしたい。 さらに、性や身体に関する正しい知識を伝え、自分の身体や人生について自分で選択する権利があることを伝えていきたい。目の前の女性を支援するだけでなく、性搾取を生み出す貧困や孤立などの背景にも目を向け、女性が性を搾取されることなく自分らしく生きられる社会の実現に向けて行動したい。
令和8年度	—	私は産後ケア提供体制の課題解決に向けて、助産師として質の高いケアの実践と体制づくりに貢献していきたい。
令和8年度	—	・海外の状況を積極的に情報収集し、将来的には青年海外協力隊や国境なき医師団での活動を行い、発展途上国へ貢献する ・診療報酬改定に必要な臨床現場におけるデータの蓄積 ・病院内での資源を大切にすることの意識の向上（物品の過剰使用を避ける、エレベーターを使わない等） ・早期離床や適切なケアを実施し、入院期間の適正化や重症化予防に貢献する ・助産師として、妊娠・出産に関する正しい情報提供や健康教育を行う
令和8年度	—	家族形成の初期に関わる役割として、養育者自身が大切にされた経験を通して子どもや家族に伝えていけるように関わる。 性やいのち教育を通して、すべての人が自分と他者を大切に、尊重し合うことを伝えていく。

年度	名前	私のSDGs宣言
令和7年度	—	・若年女子、妊婦・授乳婦に栄養ニーズを伝える。 ・困難を抱える女性、母子（貧困、DV）に対して、女性自立支援センターや乳児院などの支援してくれる施設があることを周知する。 ・交通事故が起きないように、信号を守る。運転する時も注意を払う。 ・EPA（経済連携協定）の看護師が増えるように同じ職場の人間として、国家試験に合格するように協力する。
令和7年度	—	助産師として、虐待やDVに苦しむ人々を見つける意識をすることで件数を減らしたり早期発見と早期支援につなげる。また医療者として医療を必要としている人に十分な医療を提供できるように、病院だけでなく地域への働きかけも意識する。個人としては限りある資源を大切にすためリサイクルやリユースを徹底する。
令和7年度	—	・自身が働く病院や施設のある地域や市町村が抱える問題や地域の特性について理解したうえで、教育・貧困・経済的に問題のある母子に対しても平等にケアを提供できるようにする。 ・助産師としてのやりがい・働きがいを探求しながら働く。 ・地域で暮らす社会的問題のある母子に対しても支援を考え、関われる助産師となる。 ・それぞれのライフステージにある女性に対する支援に対応し、女性の生涯を支える。
令和7年度	—	学校教育だけでなく、塾で安く良い教育を受けることができるようにすることが必要であるとする。現在アルバイトで塾講師をしているため、限られた時間でより良い教育を受けることができるように工夫することと学校に行きづらい子でも教育を受ける機会がなくならないよう、通いやすい塾の環境づくりをしたい。また、医療を受ける必要性を理解してもらうことができるように、将来助産師として、周産期に関わる際にその家族が医療を受ける必要性をわかってもらえるように情報提供をしたい。
令和7年度	—	・社会的マイノリティの現状について学ぶ、そして特定の人々に対して偏見を持たない。 ・権利侵害を受けている人に出会ったら、支援が受けられる制度・施設等を紹介する。 ・助産師としては、妊娠・出産、性などに関する相談が気軽にできる場所（電話・LINE相談など）を提供し、すべての女性のよりどころとなれるよう取り組む。
令和7年度	—	助産師として、妊産婦やその家族の身体的・精神的な健康に寄り添い、DVや虐待の被害を早期に察知し必要に応じて適切な相談機関や支援サービスにつなげられるよう努めたい。また、日々の関わりの中で、安心して相談できる環境づくりを心がけ、性別に基づく暴力や不平等に関する基礎的な知識を共有することで、身近な理解を少しずつ広げていきたい。

年度	名前	私のSDGs宣言
令和6年度	あじさい	母子が適切な支援にたどり着けることを目指して、助産師として母子に寄り添った支援や関係機関との連携に貢献します。
令和6年度	エビマヨ	困難な問題を抱える女性の課題解決に向けて、助産師として多職種と連携しながら女性に寄り添ったアウトリーチ支援に取り組んでいきます。
令和6年度	かじゅまる	性暴力撲滅に向けて、助産師として性暴力被害の防止、被害者に対する支援に取り組んでいきます。
令和6年度	青りんご	男女がともに育児に参加する社会を目指して、男性の育児参加促進に取り組んでいきます。
令和6年度	こんにゃく	子育て世代の孤立という課題解決にむけて、助産師として地域の母子とその家族を支えていきます。
令和6年度	さぼてん	大阪府の子ども虐待という課題解決に向けて、助産師として医療機関と地域の関係機関が連携した支援に取り組んでいきます。